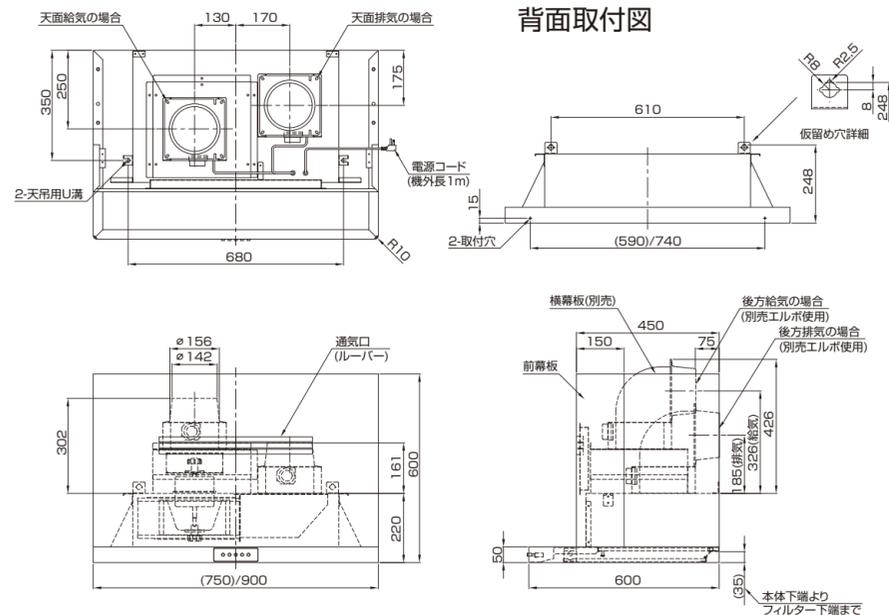
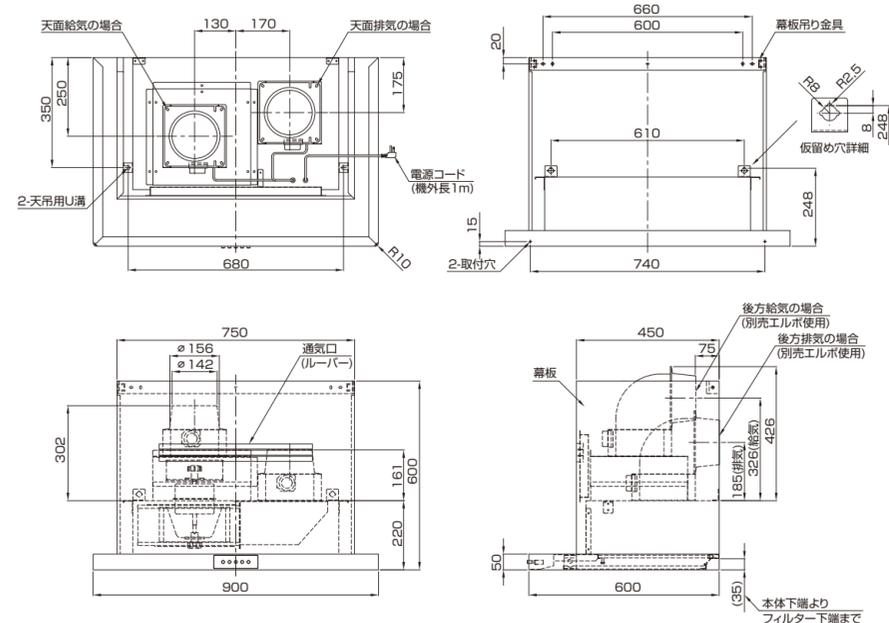


10 外観寸法図(取付寸法図)

WVS-※※5タイプ



WVSD-K※※5タイプ



(上記2機種寸法図は、右排気仕様です。左排気仕様の排気位置は中心に対して反対の位置になります。)
※特注仕様の場合、各寸法が異なる場合があります。

11 電気配線



分解・修理・改造禁止

● 修理技術者以外は、絶対に分解したり修理・改造しないこと
発火・感電したり、異常作動してけがをすることがあります。



使用禁止

● 交流100V以外では使用しないこと
火災・感電の原因になります。



アースを取り付ける

● アースを確実に取り付けること
故障や漏電のときに感電することがあります。アースの取り付けは販売店にご相談ください。



取付注意

● 配線の接続は、「電気設備技術基準」や「内線規定」に従って安全・確実にすること
誤った配線接続は感電や火災のおそれがあります。

- 1 コンセントは2極接地極付差込接続器 15A 125Vのものを設置してください。
- 2 必ずアース(D種接地)をしてください。
- 3 電源プラグをコンセントに差し込みます。

12 試運転

⚠ 注意



接触禁止

● 運転中は危険ですから羽根の中に指や物を入れないこと
けがをしたり、故障の原因となります。

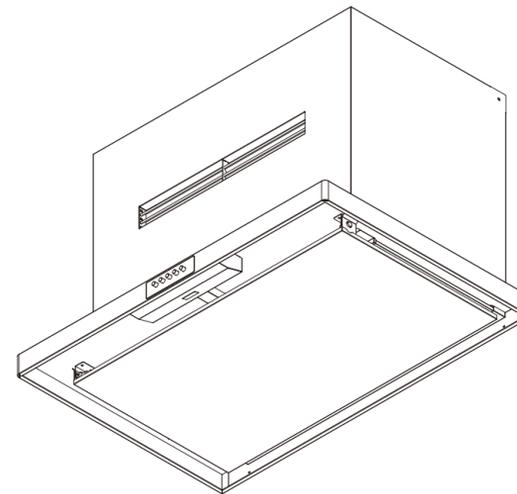
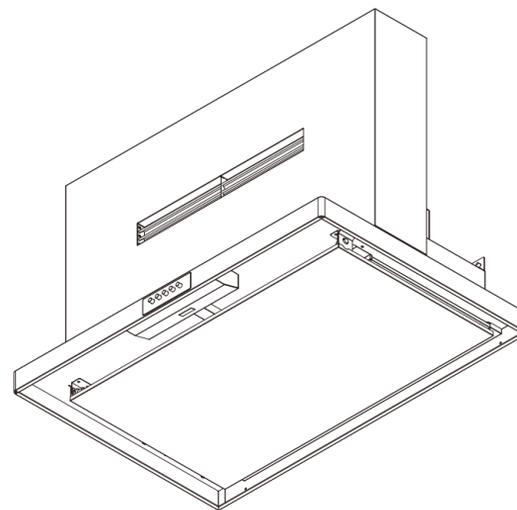
- 1 本体の各操作スイッチを押し、運転状態を確認してください。スイッチの操作、運転状態等については取扱説明書をご覧ください。
- 2 運転時、各速調の排気が正しく行われていること。
- 3 屋外の排気出口から排気されていることを確認してください。
- 4 取付け又は設置上に発生した不具合で修理を依頼されますと全て有料となりますので十分確認してください。

13 お客様への説明

- 1 取扱説明書によって機器の取り扱いを説明してください。
- 2 取扱説明書と共に、この取付・設置説明書を必ずお客様へお渡しください。

取付・設置説明書

スリム型フード (シロッコファン)



(WVS-※※5 / WVSD-K※※5)

- 取り付けの前に、この説明書をよくお読みのうえ、正しく取り付けを行ってください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しく取り付け、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

本文中に使われている図記号の意味は次のとおりです。

	「禁止」事項
	指示に従う

	分解・修理・改造禁止
	接触禁止

	電源プラグを抜く
	水場での使用禁止

安全のため必ずお守りください

安全に使用していただくための重要な項目ですので必ずお読みください。

●ここに示した事項は、安全に関する重大な内容の記載です。表示と意味は次のようになっています。

- 警告** 誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷等の重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。
- 注意** 誤った取り扱いをしたときに、傷害を負う危険または物的損害に結び付く可能性があるもの。

警告

<p>修理分解はしない</p> <p>●修理技術者以外の人には、絶対に分解したり修理改造は行わないでください。発火・感電したり、異常作動してけがをするおそれがあります。</p>	<p>お手入れは「切」してから</p> <p>●お手入れや電球の交換の際は、必ず電源プラグを抜く、または分電盤のブレーカーを切ってください。(分電盤のブレーカーを切る場合は、他機器の電源も切れるおそれがあります)ぬれた手で触らないでください。感電や、けがのおそれがあります。</p>
<p>水・洗剤等の液体につけたり、かけたりしない</p> <p>●水・洗剤等の液体につけたりかけたりしないでください。ショート・感電や火災のおそれがあります。</p>	<p>ガスもれの際はスイッチを入れない</p> <p>●ガスもれの際は換気扇スイッチを入切しないでください。ガス爆発の原因となります。</p>
<p>交流100V以外では使用しないこと</p> <p>●火災の原因になります。</p>	<p>レンジフード本体と排気ダクトは、可燃物との距離を10cm以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆う必要があります。</p> <p>※詳しくは、所種の消防署へ確認ください。</p>

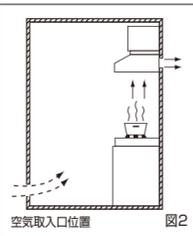
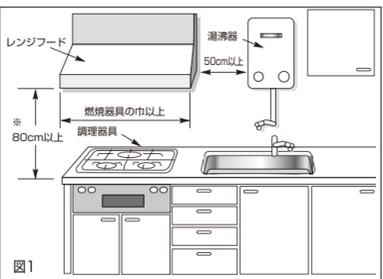
警告

<p>調理中や運転中に部品をはずさない</p> <p>●調理中や運転中に整流板、パーリングフィルター及び周辺の部品等をはずそうとしないでください。落下によりけがをするおそれがあります。</p>	<p>部品の取り付けは確実に</p> <p>●部品の取り付けは確実に行ってください。落下によりけがをするおそれがあります。</p>
<p>部品を扱うときは厚手の手袋使用</p> <p>●部品を取りはずすときや、洗うときは必ず厚手の手袋を着用してください。金属端面などでけがをするおそれがあります。</p>	<p>電源プラグは確実に差し込む</p> <p>●電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。火災の原因になります。</p>
<p>運転中は指や物を入れない</p> <p>●運転中は危険ですから、レンジフード本体の中に指や物を入れないでください。けがのおそれがあります。</p>	<p>電源コードを傷めない</p> <p>●電源プラグを抜くときは、電源コードを持って引き抜かないでください。電源コードが断線し、火災の原因になります。</p>
<p>レンジフードにのらない</p> <p>●レンジフードのつらり、ぶら下がることはやめてください。落下によりけがをするおそれがあります。</p>	<p>電源プラグのお手入れを</p> <p>●定期的に電源プラグを抜き、電源プラグのほこり等を除去してください。湿気などで絶縁不良になり、火災の原因になります。</p>

お取付前の注意事項

- 部屋全体の換気には他の換気扇(ダクト用換気扇、または一般用換気扇)を併用してください。(レンジフードは局所換気専用です。)
 - 取付・設置の際は厚手の手袋を使用してください。
 - 取付高さは標準90cmです。(但し、消防法により規制される場合がありますので注意してください。)
- 製品は調理器具の真上に取付け、取付高さは調理器具より80cm(※)の高さに取付けます。高すぎると排気効果が低下し、低すぎると台所での仕事のさまたげ

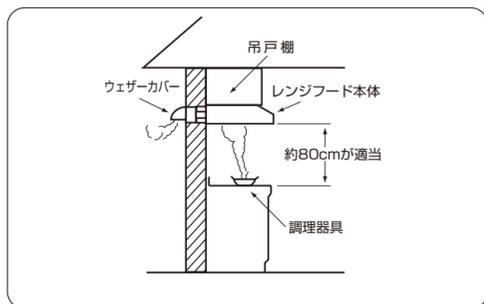
- になつたり、高熱による故障の原因になります。(図1)
- 湯沸器の上部は高温になるので、湯沸器の真上には取付けしないでください。(図1)
 - ダクト排気するときはダクト抵抗の確認が必要です。
 - 空気の取入口を設けてください。
- 密閉された部屋で使用の場合は、空気取入口を設けます。空気取入口の位置はレンジフードと反対側に設け、大きさは排気口の大きさ(□156mm)以上にしてください。(図2)
- 取付面の強度をよく調べて取付けてください。壁材が薄く弱いと振動音が発生することがあります。
 - 電源コードは傷付けないよう配線してください。
 - フード周辺のレイアウトは、各市町村の条例に従ってください。
 - 雨水の侵入や結露水の逆流防止の為、ダクト配管は屋外側に向けて下り勾配を設けてください(目安:1/100~1/50程度)。



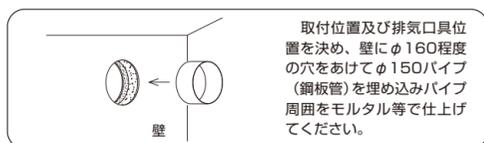
取付け方法

1 取付位置を決めてください

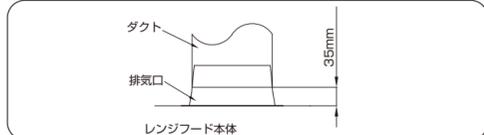
調理器具の真上80cm位の所に取付けてください



2 壁に穴あけダクトを取付けてください



■φ150ダクトの差し込み寸法



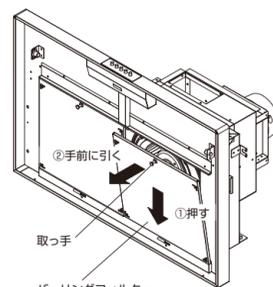
3 付属品を確認する

<p>①ねじセット</p> <p>タッピングねじ 4×50 (4本)</p> <p>タップタイトねじ 4×10 (2本) ※予備1本</p>	<p>②整流板(1個)</p>
<p>③幕板</p> <p>WVS-※5</p> <p>WVSD-K※5</p>	<p>④幕板吊り金具組(WVSD-K※5の場合のみ)</p> <p>タッピングねじ 4×50 (4本)</p> <p>タップタイトねじ 4×10 (6本)</p> <p>吊り金具(1個)</p>

4 取付け前の準備をする

パーリングフィルターをはずす

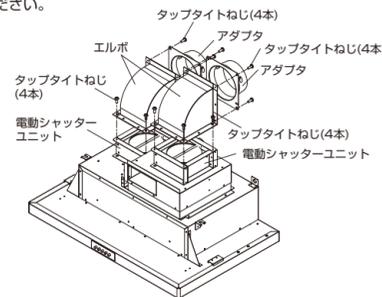
パーリングフィルターの取っ手をつかんで、奥に押ししてから手前に引くとはずれます。



5 エルボ(別売)を取付ける

後方排気をする場合

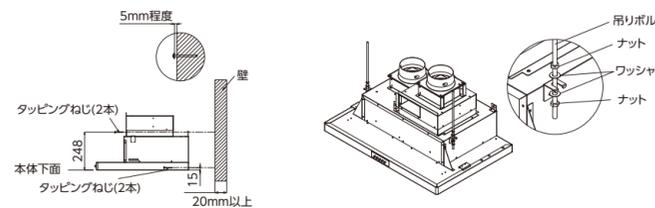
- 別売部品のエルボ(PL-150)が必要です。
- タップタイトねじ(4本)をはずし、電動シャッターユニットからアダプタをはずしてください。
 - エルボを電動シャッターユニットにタップタイトねじ(4本)で取付けてください。
 - アダプタをエルボにタップタイトねじ(4本)で取付けてください。
- ※後方給気をする場合も排気と同様にエルボを取付けてください。



6 本体を取付ける

製品の固定

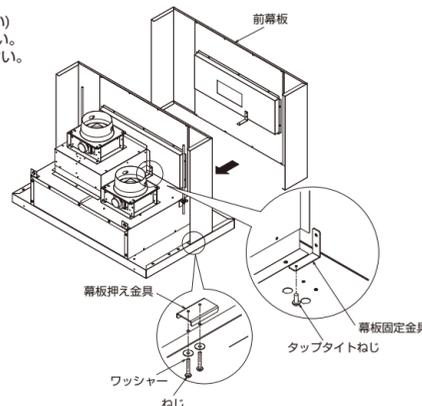
- 取付け面について
- 木質壁の場合は、取付面の板厚は20mm以上。それ以下の場合には、壁に補強板を埋め込み補強を施してください。
 - コンクリート、タイル壁の場合は、あらかじめ壁に補強板を埋め込んでおくか、カールプラグ等を使用してください。
- 外観寸法図を参考に、吊りボルトを垂らしてください。吊りボルトはM10を用いてください。
 - 吊りボルトにM10のナットとワッシャー(取付業者手配)を差し込んでください。
 - 仮留め穴位置にタッピングねじ(2本)の頭を5mm程度浮かせてねじ込んでください。
 - このねじに本体を引っ掛けてから増し締めしてください。
 - タッピングねじ(2本)で他の箇所を固定してください。
 - 本体の天吊金具に吊りボルトを差し込み、下側からM10のナット、ワッシャー(取付業者手配)をしっかり締め付けてください。



7 前幕板を取付ける

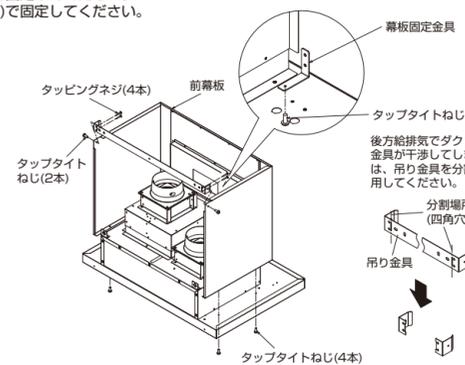
WVS-※5の場合

- 幕板押え金具を固定しているねじを少し緩めてください。(本体と幕板押え金具の隙間を3~5mm程度にしてください)
- 前方から前幕板を幕板押え金具の隙間に差し込んでください。
- 幕板固定金具を、タップタイトねじ(1本)で固定してください。
- 両サイドの幕板押え金具のねじを締めて固定してください。



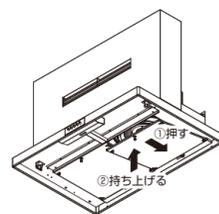
WVSD-K※5の場合

- 外観寸法図を参考に、吊り金具を壁面にタッピングねじ(4本)で取付けてください。
- 前幕板を本体に取付けてください。前幕板を本体下からタップタイトねじ(4本)で固定してください。
- 前幕板を吊り金具にタップタイトねじ(2本)で固定してください。
- 幕板固定金具を本体にタップタイトねじ(1本)で固定してください。



8 パーリングフィルターを取付ける

パーリングフィルターの取っ手をつかんで、奥に押しながら持ち上げると取付きます。パーリングフィルターが確実に取付いていることを確認してください。



9 整流板を取付ける

- 整流板を両手で持ちながら奥側の金具にフック(2ヶ所)を引っ掛けてください。
- 整流板の手前側を持ち上げ、左右のストッパーにはまるまで押し込んでください。整流板を軽く手で上下に動かして、確実に取付けられていることを確認してください。

